

2017年世界大会成功めざす活動交流ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会 電話:03 - 5842 - 6031
FAX:03 - 5842 - 6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com

2017年
8月11日発行

核兵器禁止条約国連会議の議長から世界大会にメッセージ届く

核兵器の全面廃絶に至る、核兵器を禁止する法的拘束力のある文書を交渉する国連会議の議長を務めたエレン・ホワイト・ゴメス大使（コスタリカ）から原水爆禁止2017年世界大会実行委員会に8月8日、メッセージが届きました。全文を紹介します。

2017年原水爆禁止世界大会
2017年8月3-9日、広島・長崎

エレン・ホワイト・ゴメス大使のメッセージ

核兵器の全面廃絶に至る、核兵器を禁止する法的拘束力のある文書を交渉する国連会議議長

参加者の皆さん、核軍縮・平和のために活動されている皆さん、今年2017年は、1945年8月に始まった核軍備撤廃に向けた長い道のりの中で、特別に素晴らしい年になりました。大いなる楽観主義をもって、国連はニューヨークの本部で去る7月7日、核兵器禁止条約を採択しました。

この歴史的な出来事は、国際社会にとって、特に、平和と軍縮のために活動している人々、特に市民社会にとって、偉大な成果です。しかし、条約の採択は、この道の終わりではありません。

この成果によって、私たちは、国際社会は人類が直面する差し迫った危険に対応するための合意に達することができる、との楽観的な展望と希望をもつことができます。今日、私たちは核兵器を禁止する規範を手にかけています。それはまた、世界の核軍縮・不拡散機構を補完・強化し、核軍備撤廃が達成できる道筋を示しています。

これに続く仕事は、禁止条約を実現するために進むべき長く厳しい道を歩むことです。この新しい段階では、条約を発効させ、核兵器を違法化する効力を持つために、私たちはみな、決意を新たにしなければなりません。ニューヨークの国連本部で9月20日に条約の署名が開始されます。各国による署名と批准を進め、発効に必要な50カ国の批准ができるだけ早く実現するように、みなさんにあらゆる努力をお願いします。

国際社会に、核軍備撤廃の未来への道筋を示す包括的な禁止体制を実現するという私たちの仕事には、困難もあるということに心に留めなければなりません。新たな国家間の緊張は、核兵器使用の危険を思い起こさせます。開発、平和、温暖化、平和的共存と万人にとっての安全保障という新しい枠組みなど、人類が直面する多くの問題に使われるべき数十億ドルの資金が、核軍備の近代化計画につき込まれています。

禁止条約の実現で、私たちの行動は強化されます。しかし、終わりではありません。条約をできるだけ早く発効させるためにあらゆる努力をし、特に、その原則、規範、条項の促進のために邁進しなければなりません。

みなさんの強い確信に励まされ、私は大いにやる気になっています。条約の交渉プロセスを支持して、類まれな成果を築いてきたみなさんと同じ気持ちです。近い将来、締約国会議が条約の履行という任務に着手することができるよう、落胆することなく、引き続き、みなさんのリーダーシップを頼りにしています。

核兵器のない世界を実現するために、新たな戦略と行動で引き続き奮闘してください。私自身の信念と私の国、コスタリカの明確な決意は、揺らぐことはありません。

みなさんの努力が実を結ぶことを期待します。ありがとうございました。



2017年世界大会の感想、今後の行動予定などを事務局までお寄せください。